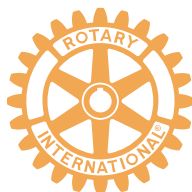


2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ ANAインターコンチネンタル別府リゾート&スパ
〒874-0000 別府市大字鉄輪499番地18
TEL (0977) 66-1000 FAX 66-1002
事務所 別府市石垣東10丁目1-25 大分ヤクルトビル3階
〒874-0919 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
<http://www.beppu4rc.jp/chuo/>
E-mail: info@beppu4rc.jp

理事 梅津 圭二 理事 佐藤 愛子 役員 会長 衛藤 秀子 会計 河村 貴雄 ガザバー(副会長) 佐々木久宜
〃 亀井 孝 〃 平野 英壽 副会長 後藤 雄二 SAA 平野 教康 中畑千恵子
幹事 梶原 和朗

VOL. 38 - 11
2025年11月18日

第1571回例会

会報担当 佐藤 愛子

◆点 鐘 12:30

◆R S 我らの生業

会長の時間

会長 衛藤 秀子

皆さん、こんにちは。会長の時間です。

本日の卓話は河村先生の卓話となっています。おもしろく、楽しい卓話をよろしくお願ひします。

皆様、11月8日のIM、大変お疲れさまでした。当日はご参加いただいた皆様のご協力により無事に終われたことを感謝いたします。

地区社会奉仕委員会部門長の吉岡様の講演から始まり、各クラブの社会奉仕活動の発表、各クラブが行なっている奉仕活動を理解する機会となり非常に良いIMになったのではないかと思います。

当クラブの佐藤愛子会員においては、原稿の作成から発表、当日の司会まで大変お疲れさまでした。当クラブが長きに渡り行なってきた奉仕活動が、地区部門長、各クラブの皆様にご理解いただけたのではないかと思います。引き続き「もみじ谷」をクラブとして大切にしていきたいと思います。

次回の例会は年次総会です。皆様のご出席よろしくお願ひします。

以上で会長の時間といたします。ありがとうございました。

◆出席報告

担当 中畑千恵子

本日 の 出 席	会 員 総 数	18 名
	出 席 者	14 名
	事前メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	2 名
10/21	欠 席 数	2 名
	出 席 率	87.50 %
前々 回 の 訂 正	出 席 率	71.43 %
	事後メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	4 名
	修 正 出 席 率	71.43 %

連 続 一 回
通 算 751 回 100 %

・メイクアップ

事前
事後
欠席 中尾、竹下
理事会承認
出席免除 溝部、木村





幹事報告

幹事 梶原 和朗

ロータリー財団月間一

- 1. 本日の卓話
「会員卓話」 河村 貴雄 会員
- 2. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より
平野英壽会員へ第5回米山功労者への感謝状
とピンバッジが届きましたので、本日ご披露
し、お渡しいたします。
- 3. 第5回定例理事・役員会報告
(令和7年11月4日(火) 13:40~
於：インターコンチネンタルホテル 7名)

審議事項

- 1) 12月忘年会について
日時 令和7年12月12日(金) 18:30~
場所 四季彩 銀ノ塔
会費 7,000円(飲料別)
- 2) グローバル補助金プロジェクトの海外援助
クラブ募集について。※応募しない

確認事項

- 11月・12月例会予定の確認。
11月/ロータリー財団月間
11月4日 「新会員卓話」 渡邊寛会員
12:30~ 於：インターコンチネンタルホテル
11日 例会はありません。
18日 「会員卓話」 河村貴雄会員
12:30~ 於：インターコンチネンタルホテル
25日 例会はありません。
12月/疾病予防と治療月間
12月2日 「年次総会」
12:30~ 於：インターコンチネンタルホテル

- 9日 例会はありません。
- 12日 (金)「忘年会」
18:30~ 於：四季彩 銀ノ塔
- 16日 「新会員卓話」 森 京子会員
12:30~ 於：インターコンチネンタルホテル
- 23日 例会はありません。
- 30日 例会はありません。

- 4. 11月8日(土) 12:30~平野教康ガバナー補
佐主催、当クラブホストによる「2025-2026
年度RI第2720地区大分第3グループIM」が
開催されました。
出席者：平野教康ガバナー補佐、衛藤秀子会
長、後藤雄二、平野英壽、亀井 孝、
中畑千恵子、佐々木久宜、佐藤愛子、
竹下一枝、梶原和朗 各会員

- 5. お祝い
会員誕生日 渡邊 寛 会員 (11月27日)
※記念品をお渡し致します。

- 6. 例会変更のお知らせ
別府RC 11月21日(金)の例会は、例会変
更の為、同日12:30~13:30両築
別邸にてサイン受付

祝日同週/定款第7条第1節により休会のクラブ
11月25日(火): 大分、大分中央、湯布院、
中津中央
11月26日(水): 大分城西
11月27日(木): 大分東、別府東
11月28日(金): 大分南、別府

- 7. 次回例会の予定(12月2日) 12:30~13:30
「年次総会」 於：インターコンチネンタルホテル





8. 本日の回覧

- ①杵築RC 週報
- ②「12月第1例会（12/2）」出・欠席
- ③「別府北ロータリークラブ創立60周年記念式典・祝賀会」出・欠席
- ④「忘年会」出・欠席

スマイルボックス

梅津 圭二

○衛藤会長

お久しぶりです。今日の例会は、お客様がない中央クラブだけの例会です。楽しい会にしましょう。

河村先生の卓話、楽しみにしています。

○佐々木会員

寒くなってきました。「秋が短い」ではなく「秋がなくなってる」気がします。

明日はアスベストの試験があり、まじめに勉強しています。合格できると信じています。

河村先生、今日の卓話楽しみにしています。

○梶原会員

IMに参加された皆様、お疲れ様でした。後、発表された愛ちゃん、素晴らしい発表でした。

河村先生、卓話よろしくお願いします。

○河村会員

本日は卓話をさせていただきます。卓話を聞いて下さる皆様に感謝してスマイル。

○平野(英)会員

皆さん、先月の米山月間では多額の協力、大変ありがとうございました。

又、今月はロータリー財団月間です。(笑)

他クラブと比べ我がクラブは、対外的奉仕活動を余り行っていませんので、せめて財団月間には寄付協力願えばと思っています。出費多難折りではありまじょうが、どうかよろしく。

○亀井会員

河村先生、本日の卓話宜しくお願いします。

○佐藤会員

本日は、河村先生の卓話を楽しみに来ました。よろしくお願いします。

○渡邊会員

河村貴雄先生の卓話を楽しみにして参りました。どうぞ、宜しくお願いします。

○後藤会員

河村先生、卓話楽しみにしております。

今日も元気に仕事出来る事に感謝。

○井上会員

本日より非常に寒くなりますので、皆様体調にはくれぐれもお気を付けください。

河村さん、本日の卓話楽しみにしております。社内の忘年会のご利用がございましたら、お声掛け下さい。

○中畑会員

本日卓話の河村先生、楽しみにしています。よろしくお願いします。

先日、田原俊彦トシちゃんのコンサートに行ってきました。前から2列目の真ん中で、汗も見えるくらい近かった…キュン

64歳とは思えないくらい、歌いながら踊ってびっくり感激でした★ さすが、昭和のアイドルですね。私も頑張ります～

スマイル☺

○森会員

利用者様も笑顔にほっこりした朝でした。

河村様、卓話楽しみにしています。よろしくお願い致します。

○梅津会員

河村先生、卓話よろしくお願いします。





能力向上の秘訣

能力向上の秘訣は、「No.2に徹しきる」ことである。

組織に属すると、必ず、直属の上司と部下の関係がある。自分のNo.1（直属の上司）を無条件に尊敬・信頼すると、No.1が持っている能力（天下一品の個性）がNo.2（自分）に流れてくるといふ原則がある。

No.1を嫌っていると、能力が流れてこないどころか、No.1のいやだなと思うところをしっかりと引き継いでしまう。縁があって、自分のNo.1になったら、一切の条件をつけず、No.1の長所だけをみてゆく。

論語で有名な孔子の弟子に、顔回という高弟がいた。孔子、曰く「私が顔回と話をしていると一日中ハイハイと何でもすなおに受け入れて少しでも反抗したり文句を言ったりしたことがない。それは、全くバカ者のようである。それが一旦私のもとを離れると私の云ったことを一言一句、聞きもらさず、はっきりと実践していて、非の打ち所がない。」

本物のNo.1とNo.2の関係であると、その思いが通うということになり、自ら念ずることが、そのままNo.1（師）の念願でもある。そして、学の芸の才の徳の一切が、そのまま師より弟子に移されて、師が弟子に生きてくる。中途半端な右腕、片腕では、とても味わえない崇高な精神世界である。

たとえ、自分が現在、No.1の立場であっても、先代や起業した時にお世話になった方や、あるいは親がNo.1であり、自分はどこまでもNo.2という考え方が大切である。ささげ尽くして己を無くした時、ある意味、初めてNo.1を超えることができる。

自分自身が優秀なNo.2になりきれなくて、どうして自分がNo.1の立場になった時、自分のもとに優秀なNo.2が、現れるだろうか。どうせなら、超一流のNo.2を目指したらよい。

親（No.1）と、子（No.2）の関係も同じである。

税理士試験の最後の課目に何度挑戦しても失敗をした時のことである。師と仰いでいる方に「河村さんはまだ親に繋がっていませんね」と云われた。

当時、私は東京の会計事務所に勤務し、結婚し、子供達もいた。しかし、ことさらに親孝行ということは意識したことがなかった。その方は更次のようにおっしゃった。①親に毎日挨拶をしていますか。②親の美点（長所）をみていますか。③親の願いに応じていますか。

改めて考えてみるとどれも自信がなかった。そこでささやかな実践を始めた。

毎朝、別府にいる両親に向って、通勤する車の中から、大きな声を出して挨拶をした。「お父さん、おはようございます。お母さん、おはようございます。」

毎朝、継続しているとそれまで何十年と忘れていた小さい頃の記憶が鮮明に蘇ってきた。

父は、公務員だったので、2、3年毎に転勤していた。臼杵市の借家に住んでいた頃、私が肺炎にかかり、母が近くのお医者さんに往診を頼みに行ってくれた。枕もとで苦しんでいる私を見兼ねてか、当時まだ30才になるかならない父が、「おい、貴雄、だいじょうぶか、おい、貴雄、だいじょうぶか」と一生懸命案じてくれている姿。自分は、どれだけ親に迷惑をかけ心配させてきたのかと思いつくと涙が流れて仕方がなかった。

しかし、不思議なことにその頃から夜の勉強がはかどるようになった。そして、その年の暮、待望の合格通知が届いた。親に少しでも繋がることができたことで、合否ラインぎりぎりの1、2点の差を何とかクリアさせてもらえたのだと感謝した。

ある賢人は、こう述べている。「親を尊敬し、大切にし、日夜孝養を尽すのは、親が偉いからではない、強いからではない。世の中にただ一人の親であるからである。私の命の根元であり、むしろ私自身の命である親だからである」と。